



自転車ーリヤキャリヤ及びスタンド

JIS D 9453 : 2013

(JBPI)

平成 25 年 11 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 消費生活技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員会長)	會川 義 寛	お茶の水女子大学名誉教授
(委員)	赤 松 幹 之	独立行政法人産業技術総合研究所
	浅 見 剛 尚	一般財團法人日本文化用品安全試験所
	阿 部 哲 也	一般財團法人製品安全協会
	石 川 麗 子	財團法人日本消費者協会
	井 上 裕 文	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	大 熊 志津江	文化学園大学
	金 丸 淳 子	公益財團法人共用品推進機構
	河 村 真紀子	主婦連合会
	佐々木 定 雄	一般社団法人日本ガス石油機器工業会
	佐 分 正 弘	公益社団法人消費者関連専門家会議
	鈴 木 はるみ	合同会社西友
	中 里 憲 司	一般社団法人繊維評価技術協議会
	中野子 礼 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会
	夏 目 智 子	全国地域婦人団体連絡協議会
	秦 義 一	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	久 松 富 雄	一般財團法人家電製品協会
	山 口 公 樹	一般社団法人日本オフィス家具協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 36.11.1 改正：平成 25.11.20

官 報 公 示：平成 25.11.20

原案作成者：一般財團法人自転車産業振興協会

(〒590-0948 大阪府堺市堺区戒之町西1丁3-3 TEL 072-238-8731)

審議部会：日本工業標準調査会 標準部会（部会長 稲葉 敦）

審議専門委員会：消費生活技術専門委員会（委員会長 會川 義寛）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット環境生活標準化推進室（〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 部品名称	2
5 キャリヤの区分	2
6 強度	3
6.1 キャリヤの強度	3
6.2 スタンドの強度	3
7 構造及び機能	3
8 形状及び寸法	4
9 めっき	4
10 塗装	4
11 外観	4
12 試験方法	4
12.1 キャリヤの強度試験方法	4
12.2 スタンドの強度試験方法	7
13 表示	8
13.1 キャリヤの表示	8
13.2 スタンドの表示	8
14 取扱説明書	8
14.1 キャリヤの取扱説明書	8
14.2 スタンドの取扱説明書	9
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	14
解 説	17

まえがき

この規格は、工業標準化法第14条によって準用する第12条第1項の規定に基づき、一般財団法人自転車産業振興協会（JBPI）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS D 9453:2010** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

自転車ーリヤキャリヤ及びスタンド

Bicycles—Luggage carriers and stands

序文

この規格は、1994年に第1版として発行された**ISO 11243**を基に、我が国の実情を反映させるため、技術的内容を変更して作成した日本工業規格である。

なお、この規格で側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。変更の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JA**に示す。

1 適用範囲

この規格は、主として**JIS D 9111**の規定で分類される一般用自転車、幼児用自転車及び電動アシスト自転車に用いるリヤキャリヤ（以下、キャリヤという。）及びスタンドについて規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 11243:1994, Cycles—Luggage carriers for bicycles—Concepts, classification and testing (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、**ISO/IEC Guide 21-1**に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0205-1 一般用メートルねじー第1部：基準山形

JIS B 0205-2 一般用メートルねじー第2部：全体系

JIS B 0205-3 一般用メートルねじー第3部：ねじ部品用に選択したサイズ

JIS B 0205-4 一般用メートルねじー第4部：基準寸法

JIS B 0209-1 一般用メートルねじー公差ー第1部：原則及び基礎データ

JIS B 0209-2 一般用メートルねじー公差ー第2部：一般用おねじ及びめねじの許容限界寸法ー中（はめあい区分）

JIS B 0209-3 一般用メートルねじー公差ー第3部：構造体用ねじの寸法許容差

JIS B 1501 転がり軸受—鋼球

JIS D 9101 自転車用語

JIS D 9111 自転車ー分類及び諸元

JIS H 8610 電気亜鉛めっき

JIS H 8617 ニッケルめっき及びニッケルークロムめっき

JIS K 5600-5-4 塗料一般試験方法ー第5部：塗膜の機械的性質ー第4節：引っかき硬度（鉛筆法）